

平成30年度山口県公立高等学校入学者選抜

学力検査の結果の概要及び今後の学習指導に向けて

平成30年4月
山口県教育委員会

目 次

ページ

○ 平成30年度山口県公立高等学校入学者選抜のための 学力検査の結果について	1
○ 各教科の結果について	
国語	2
社会	4
数学	6
理科	8
英語	10

平成30年度山口県公立高等学校入学者選抜のための 学力検査の結果について

1 出題の概要

平成30年度の学力検査の出題については、中学校教育の充実と発展に資するよう、中学校学習指導要領に準拠しつつ、以下のとおりとした。

- 基礎的・基本的な内容と応用的な内容について、均衡を図って出題した。
- 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をみる問題を出題した。

2 結果の総評

- 各教科とも基礎的・基本的な事項に関する問題については、おおむね平素の学習の成果がよく表れていた。
- 表やグラフなどの資料から分かったことをまとめて適切に表現する力をみる問題や、論理的に考えたり柔軟に思考したりする力をみる問題については、更に努力が必要な状況がみられた。
- 今後とも、学習内容と生活場面・実社会との関連を考えながら学習することにより、学ぶことの意義や有用性を実感し、学習に対する興味・関心を高めることが必要である。また、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付け、主体的に学習に取り組む態度を養うことが大切である。

国 語

1 出題の特徴

- 基本的な語句の知識を問う問題に加え、登場人物の心情や表現の特徴を読み取る問題を出題した。
- 文章の展開に即して、内容を的確に読み取る力や、読み取った内容を適切に表現する力をみる問題を出題した。
- 話し合いの内容を記録した文章と資料を読み、「地域との関わりの中で学んだこと」について自身の体験にふれながら作文する問題を出題した。

2 結果の概要

- 語句の構成や、漢文の訓読などに関する基礎的・基本的な知識を問う問題については、よくできていたが、単語の類別については課題がみられた。
- 文章の展開に即して、内容を的確に読み取る力や、読み取った内容を適切に表現する力をみる問題については、いま一步であった。
- 作文については、条件にしたがって的確に表現できていないものが多く、必ずしも十分とはいえなかった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

二 〈問題文は、紅野謙介他「知のスクランブル—文理的思考の挑戦」から。ここでは省略。〉

(三) 「ふと」と同じ品詞であるものを、次の1～4から一つ選び、記号で答えなさい。

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 そんなつもりは <u>全く</u> なかった。 | 2 風のように走り去っていった。 |
| 3 あなたの行為を <u>うれしく</u> 思う。 | 4 廊下は <u>静かに</u> 歩きましょう。 |

正答 1

【解答の状況】

2 (助動詞) や、3 (形容詞) とする解答が多くみられた。

【課題】

単語の類別について正しく理解すること。

《問題例②》

三 〈問題文は、「古今著聞集」から。ここでは省略。〉

(三) 「この事」の指す内容は何か。十二字以内の現代語で答えなさい。

正答例 子どもが絵を描くこと。

【解答の状況】

「父が自分で絵を描いた。」や「子どもの絵をほめたこと。」など、指示語の指示する内容が正確に理解できていない解答がみられた。

【課題】

指示語の指示する内容を的確に読み取るとともに、読み取った内容を適切に表現すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 文章の展開に即して内容を的確に捉える力の育成

文章の中心的な部分と付加的な部分、具体的事例と筆者の意見などを読み分け、また、単語が文中で果たす役割や指示語、比喩的な表現、言い換えなどに注意しながら文脈の中における語句の意味を正確に理解することで、文章の内容を的確に捉えることができるようにする。

○ 理解した内容を適切に表現する力の育成

文章の内容を要約したり、自分の考えをまとめたりする活動に加えて、図表や絵などを含めた様々な情報を活用して、目的や場面に応じた適切な言葉で自分の考えを表現できるようにする。

○ 語彙を豊かにし、思考力を養う活動の充実

読書の幅を広げることで語彙を豊かにするとともに、古典を含む様々な文章を読み比べて、構成や表現の仕方について考えたり、自分の意見をまとめたりしながら思考力を養う。

社 会

1 出題の特徴

- 身の回りの社会的事象に関心をもって学習を進め、基礎的・基本的な知識や概念を理解しているかをみる問題を出題した。
- 作業的・体験的な学習の場を設定し、学習した内容と資料を関連付けて思考・判断する力をみる問題や、資料を活用する技能をみる問題を出題した。
- 様々な資料を活用して考察した結果を適切に表現する力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 基礎的・基本的な知識や概念の理解をみる問題については、よくできていたが、一部に課題もみられた。
- 学習した内容と資料を関連付けて思考・判断する力をみる問題や、資料を活用する技能をみる問題については、必ずしも十分とはいえなかった。
- 資料を活用して考察した結果を適切に表現する力をみる問題については、必ずしも十分とはいえなかった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

5 (略)

年齢に応じた権利や義務

6 歳 4 月から①小学校に入学することができる。

(中略)

40 歳 原則として、全員が (A) 保険に加入する。

(1) (A) に入る、適切な語を答えなさい。

正答 介護

【解答の状況】

社会（保険）や生命（保険）とする解答が多くみられた。

【課題】

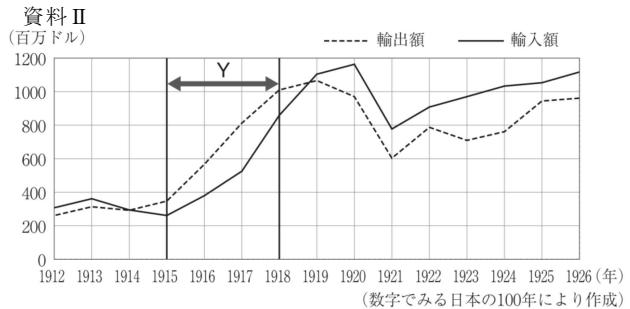
社会的事象に対する関心を高め、公民的分野の学習を理解する上で必要となる基礎的・基本的な知識や概念を確実に身に付けること。

《問題例②》

4 (略)

- (6) 下線部⑥について、資料Ⅱは、1912年から1926年の日本における輸出額と輸入額の推移を示したものである。日本の輸出額と輸入額の関係について、Yの時期にみられる特徴を、当時のヨーロッパの状況をふまえ、説明しなさい。

正答例 第一次世界大戦の影響により、日本の輸出額が輸入額を上回っている。



【解答の状況】

Yの時期にみられる特徴における当時のヨーロッパの状況を、産業革命の影響とする解答が多くみられた。

【課題】

学習した内容を他の情報と関連付けて思考・判断し、適切に表現すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 基礎的・基本的な知識や概念の確実な習得

時事的な話題や身近な生活体験などを通して社会的事象に対する関心を高め、社会科の学習を深める上での基礎的・基本的な知識や概念が確実に身に付くようにする。

○ 様々な資料を活用して多面的・多角的に思考し判断する力の育成

地図、年表、写真、新聞、統計などの資料に平素から親しみ、内容を正しく読み取るとともに、読み取った内容を他の情報と関連付けて考察し、公正に判断する力を育成する。

○ 作業的・体験的な学習活動を通して適切に表現する能力と態度の育成

観察や調査を実施し、その過程と結果を報告書にまとめ、発表するなど、問題解決的な学習活動の充実を図ることなどにより、考察し判断したことを適切に表現する能力と態度を育成する。

数 学

1 出題の特徴

- 事象の中に数量や図形の関係を見だし、数学的な表現を用いて説明する問題を出題した。
- 図や表、グラフの中から情報を読み取り、事象を数学的に解釈して解決する問題を出題した。
- 身近にあるものを題材として、数学的に考察し処理する中で、様々な領域の学習内容を総合的に活用して課題を解決する問題を出題した。

2 結果の概要

- 基礎的・基本的な知識・技能に関する問題については、よくできていたが、一部に課題もみられた。
- 見いだしたことや思考の過程、判断の根拠などを数学的な表現を用いて説明する問題については、いま一歩であった。
- 論理的に考えたり、柔軟に思考したりする力をみる問題については、無答が多く、十分ではなかった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

- 3** 下の図のように、2つの一次関数 $y = 2x + 8$, $y = -\frac{3}{4}x + a$ のグラフがあり、 x 軸との交点をそれぞれ P, Q とする。

(図は略)

- (1) 一次関数 $y = 2x + 8$ について、 x の増加量が 3 のときの y の増加量を求めなさい。

正答 6

【解答の状況】

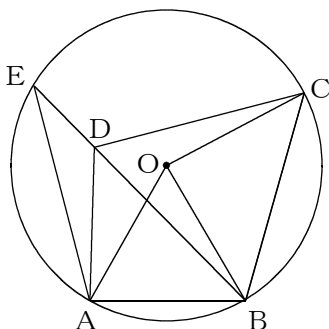
「増加量」という用語についての理解が十分でなく、 $x = 3$ のときの y の値である 14 を解答とするものが多くみられた。

【課題】

関数の特徴を、表、式、グラフで捉えるとともに、それらを相互に関連付けることで、関数についての理解を深めること。

《問題例②》

- 8 下の図で、3点A, B, Cは円Oの周上、点Dは円Oの内部の点であり、 $\triangle OAB$, $\triangle BCD$ は正三角形である。線分BDの延長と円Oの交点をEとする。



- (3) $AB = \sqrt{21}$ cm, $BC = 6$ cm のとき、2点A, Cを結ぶ線分ACの長さを求めなさい。

【考え方】

四角形ABCDについて、 $AB = AD$, $CB = CD$ なので、 2つの対角線AC, BDの交点をFと すると、 Fは線分BDの中点で、 $AC \perp BD$	よって、三平方の定理から、 $AF = 2\sqrt{3}$ cm, $CF = 3\sqrt{3}$ cm したがって、 $AC = AF + CF$ から、 $AC = 5\sqrt{3}$ cm
---	--

正答 $5\sqrt{3}$ cm

【解答の状況】

四角形ABCDについて、 $AB = AD$ 、 $CB = CD$ から、2つの対角線AC、BDが垂直に交わり、その交点が対角線BDの中点であることに気づかず、無答が多くみられた。

【課題】

図形の性質を活用し、論理的に筋道を立てて考察すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ **基礎的・基本的な知識・技能の定着**

関数 $y = ax^2$ を学習する際に、既習事項である比例、反比例や一次関数を取り上げ、それらと比較することで関数の理解を深めるなど、関連する内容を意図的に取り上げ、基礎的・基本的な知識・技能の一層の定着を図る。

○ **言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解する力の育成**

根拠を明らかにし筋道を立てて体系的に考えたり、説明し伝え合ったりする活動の充実を図ることで、言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解する力を育成する。

○ **事象を数学的に表現する力の育成**

日常生活や社会における事象を数学と結び付けて考察したり処理したりする活動を通して、数学を利用することの意義を実感できるようにするとともに、数学的に表現する力を育成する。

理科

1 出題の特徴

- 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な概念や原理・原則を理解しているかをみる問題を出題した。
- 目的意識をもって観察、実験を行い、得られた結果を科学的に考察し、表現できるかをみる問題を出題した。
- 自然の事物・現象を客観的に捉え、合理的に判断し、筋道を立てて考察できるかをみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 自然の事物・現象についての基礎的・基本的な事項に関する問題については、よくできていた。
- 観察、実験の技能を問う問題、図やグラフをかく問題については、いま一步であった。
- 観察、実験で得られた結果を基にして考察し判断する問題や、予想を確かめるための観察、実験を構想する問題については、いま一步であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

5 (略)

(2) 次の1～4は、図3の顕微鏡の操作を説明したものである。1～4を正しい順に並べかえ、記号で答えなさい。

- 1 ピントを合わせ、よりくわしく見たいものを視野の中央にもってくる。
- 2 対物レンズを低倍率にし、視野を明るくする。
- 3 プレパラートをステージにのせ、横から見ながら対物レンズとプレパラートを近づける。
- 4 レボルバーを回し、対物レンズを高倍率にする。

図3



正答 (2) → (3) → (1) → (4)

【解答の状況】

3→2→1→4のように、対物レンズとプレパラートを近づけてから、対物レンズを低倍率にするという順に答えた解答がみられた。

【課題】

観察、実験の技能を身に付けるため、主体的に活動に取り組むこと。

《問題例②》

- 9 化学変化の激しさに興味をもったYさんは、マグネシウムが塩酸にとける反応において、塩酸の温度、濃度、体積が反応の進む速さと関係しているかどうか調べるために、次のように仮説をたてて、探究を行うこととした。

仮説1 塩酸の温度が変わると反応が進む速さも変わる。
仮説2 塩酸の濃度が変わると反応が進む速さも変わる。
仮説3 塩酸の体積を変えても反応が進む速さは変わらない。

(略)

- (4) Yさんは、仮説3を検証するため、新たにビーカーDを用意し、塩酸に0.1gのマグネシウム片を入れてすべて反応させ、マグネシウム片がなくなるまでの時間をビーカーAの結果と比べることにした。

ビーカーDの条件をどのようにすればよいか。ビーカーDに入れる塩酸の「温度」「濃度」「体積」について、それぞれ適切なものを下の1, 2から1つずつ選び、記号で答えなさい。

また、ビーカーDの「結果」がどのようになれば、仮説3が正しいと考察できるか。簡潔に述べなさい。

- 1 ビーカーAの条件とそろえる。 2 ビーカーAの条件と変える。

正答及び正答例

「温度」	「濃度」	「体積」	「結果」
1	1	2	ビーカーAの結果と等しくなる。

【解答の状況】

「体積」だけでなく「温度」や「濃度」も2とする解答がみられた。

【課題】

課題解決に向けた実験を構想する学習活動に取り組むこと。

4 今後の学習指導に向けて

○ 科学的に探究する活動を取り入れた観察、実験の重視

自然の事物・現象の中に課題を見だし、課題解決のために自ら観察、実験の計画を立て、条件設定を行うなど、目的意識をもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈する能力と態度を育成する。

○ 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力の育成

身近な自然現象、身の回りの生活用品、科学技術等を授業で取り上げ、理科の学習と日常生活や社会とを関連付けながら、学習を通して得られた知識・技能を活用して課題を解決する力を育成する。実験器具の合理的な操作に習熟することにより、危険を認識し、回避する能力を養う。

○ 科学的に考察し表現する能力と態度の育成

仮説を立てて観察、実験を行い、表やグラフの作成、モデルの活用、コンピュータなどの活用、レポートの作成や発表などを通して、科学的に考察し表現する能力と態度を育成する。

英 語

1 出題の特徴

- リスニングテストでは、基礎的な事柄を扱い、「聞くこと」のほかに「話すこと」や「書くこと」を結び付けた、実際のコミュニケーションに近い能力をみる問題を出題した。
- 対話文や物語文などを読んで、日常的な会話表現を使う力、前後の流れから内容を判断して英語で適切に表現する力、文脈を正しく理解し、概要や要点を的確に捉える力をみる問題を出題した。
- 与えられた日本語や文脈を踏まえ、語と語のつながりなどに注意して正しい語順や語法を用いて英文を書く力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- リスニングテストでは、基礎的・基本的な表現を用いた短い対話を聞いて理解する力をみる問題は、よくできていた。やや長めの英文を聞いて、それに含まれる情報を正しく聞き取り適切に書く問題は、いま一歩であった。
- 対話文や物語などを読んで、文脈や概要を正しく読み取る問題は、おおむねできていた。
- 文脈を踏まえ、語と語のつながりなどに注意して正しい語順や語法を用いて英文を完成させる問題は、いま一歩であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

1 テスト3 〈問題文、[ラジオ放送] は一部省略〉

ラジオ放送を聞いて、(中略) 下線部(D)には適切な数字を書きなさい。

Tomorrow, it'll be (C) in the afternoon, but the highest temperature will be (D) °C.
I think we should wear warm clothes.

[ラジオ放送]

Now it's rainy around Green City and the temperature is 18 degrees Celsius.

Tomorrow, on Sunday, it'll be cloudy in the morning. It'll be sunny in the afternoon, but the temperature will not go up very much and the highest temperature will be 14. When you go out, you should wear warm clothes.

正答 14

【解答の状況】

18や40とする解答が多くみられた。

【課題】

内容的にまとまりのある複数の英文を聞いて、情報を正確に聞き取ること。

《問題例②》

3 (略)

(4) 下線部(E)に、場面にふさわしい4語以上の英語を書きなさい。

[本文]

Mary: Sounds nice. _____(E) when I have questions about the aquarium?

Saya: Ask at the Information Desk. It's near the Aquarium Shop. I think some of the staff members can speak English.

正答例 What should I do

【解答の状況】

Ask at the Information Desk. が応答となる疑問文を正しい語順や語法を用いて書くことができず、What I should do や Where am I ask、I don't know to do などとする解答がみられるとともに、無答も多かった。

【課題】

語と語のつながりなどに注意して正しく英文を書くこと。

4 今後の学習指導に向けて

○ 基礎的・基本的な事項の確実な定着

実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動を行う際には、それを支える基礎的・基本的な語彙や英文について理解したり練習したりする活動を適宜組み合わせるなどして、それらの確実な定着を図る。

○ 文脈に即して内容を理解する力の育成

一語一語の意味の確認、一文一文の解釈などの断片的な学習にとどまることなく、話の展開を大まかに読み取ったり、中心となる事柄など大切な部分をとらえ、的確に読み取ったりする活動などを取り入れ、概要や要点、筆者や登場人物の心情などを文脈に即して理解する力が身に付くようにする。

○ 情報が正しく伝わるように話したり書いたりする力の育成

授業での教員・生徒間及び生徒同士の英語によるやりとりや、「手紙、日記、スピーチの原稿を書く」などの自己表現活動の中で、自分の知っている語彙等を活用し、伝えたいことを相手に正しく伝わるように話したり書いたりする力を育成する。